



# WEEKLY REPORT

2007年12月6日

幹事部 光治

幹事報告委員長：坂井 宰

http://www.shi-rc.com/

090~

本日の進行 (12:30)

年次総会

上半期三大奉仕委員会報告

次回のお知らせ

12月13日(木)(18:30)

小林 菜穂様

「脳細胞を活性化するには」

## 第2233回 例会記録

2007年11月29日

出席報告	会員数 46名(出席免除 8名)	出席数 18名	出席率 47.37%	前回修正出席率 81.58%
------	------------------	---------	------------	----------------

ゲスト:	ビジター:	メイクアップ: 14名
------	-------	-------------

### 会長談話 松井 一郎 会長

皆様今晚は、11月も本日の社会奉仕フォーラムで終了します。まずもって、会員の皆様方には、達人講座、チャリティーダンスパーティー、あじさい植栽と色々のご協力頂きまして、ありがとうございました。

チャリティーダンスパーティーは、550名を越える参加者があり、何事もなく成功裏に終了することができました。前日の準備、また当日は朝早くから寒い中のシート張り、そして後片づけとお疲れ様でした。翌々日の植栽におきましても、朝早くより大崎公園にてあじさい 160本を、ガールスカウト第59団の子ども達と一緒に植え、当日は最高の晴天でとても温かく楽しい一時を過ごしました。

何か事を成し遂げた後の充足感、達成感といいたいでしょうか、良いことをした後のさわやかさは、お金には変えられない何かを感じます。感動は人を変え、笑いは人を潤し、夢は人の心を豊かにします。最近の例会は出席率が悪く会長として、大変頭を悩ませていますが、原因を

追求して出来る限り出席率の向上の為に、三役がしっかりとしなければなりません。

次年度の、長野年度への提言というテーマで、本日は社会奉仕フォーラムが行われます。継続事業の見直し、新規事業の提案、地域のニーズ、ロータリーとして、出来るもの、出来ないもの、行政への働きかけで新しい事業を模索する。あれもやりたい、これもやりたいと長野年度の新しい社会奉仕事業が生まれる事を、ご期待申し上げます。12月6日は、年次総会もごさいます。次々年度の会長ノミニーが決まります。

豊かな暮らしとは、丁寧に暮らすことです。なんと雑な生き方をしている人が多いことか・・・「遠きを図る者は富み、近きを図る者は、貧す」良い生き方をしているも、不運や災難はやってくる、しかしそのおかげで、自らは鍛えられていく、「はい、来ましたね！」なんて、苦難を引き受けて行きましょう！それを通して、自分は成長していくのです。

幹事報告：\*鎌倉RC公開例会：12/4(火)12:30 岡崎洋氏「環境問題をめぐって」参加費 3,000円

### 年次総会関連 クラブ細則 抜粋

### ロータリー情報

第2条 理事および役員選挙 第2節 選挙方法 (\*第1節 候補者の指名 - 11/19開催の指名委員会にて指名された)

(a) 前節の規定(\*)に基づき指名委員会または会長ノミニーより指名を受けた各候補者は、年次総会において単記無記名による投票に付せられ、各々投票の過半数を獲得した候補者がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。

(d) 会長ノミニーは、後任者(次々年度会長)が選挙された後に、会長エレクトの役職名が与えられるものとする。

(e) 本節により当選した次年度役員または理事は、それぞれ役員以外のまたは理事以外の役職名が与えられるものとする。

第4条 会合 第1節 年次総会

本クラブの年次総会は毎年12月第1例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において、次々年度会長の選挙ならびに、会長ノミニーおよび本年度会長(次年度直前会長)を除く役員エレクトおよび理事エレクトの選挙を行う。

第3節 定足数 会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

## フォーラム 次年度への提言!! 「逗子RCの社会奉仕へのあり方」

### 「ロータリーの社会奉仕活動の変遷について」矢部光治

1905年、ポールハリスが3人の仲間と各々の事務所を持ち回って会合を開いて誕生したロータリークラブであり、会員の業務上の利益を振興する性質として社交クラブに伴う親睦を重視するという「ロータリーの互惠主義」であった。これに限界を感じ、1912年、社会奉仕の概念を取り入れて物質的相互扶助の原則は廃止された。その後ロータリー運動は職業上の倫理を重視する「倫理派」と物質的な社会奉仕を重視する「行動派」の対立が激化したが、1923年セントルイス国際大会で、両派の主張を上手く取り入れた決議23-24が採択された。ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学「超我の奉仕」という奉仕哲学であり、「最もよく奉仕する者最も多く報われる」という実践理論の原則に基づくものである。奉仕とは「利己」と「利他」との調和を意味している」という内容であり、今日のロータリーの発展の基礎をなす素晴らしい決議とされている。

1992年には決議92-286「社会奉仕に関する声明」が採択されロータリーは個人奉仕と共にクラブの団体奉仕を推奨する方向に変化しつつある。社会奉仕の実践はシカゴクラブが



行った公衆便所の設置運動というのが一番有名である。私はシェルドン提案の「最もよく奉仕する者最も多く報

われる」、他人のことを思いやり他人の為に役立つと努力することが社会奉仕の原点だと思います。

### 「過去10年間の逗子RCの社会奉仕活動実績を踏まえてこれから如何するか」白井浩

過去の逗子RCの社会奉仕活動は 青少年の育成・援助 社会的弱者の救済・激励 公共施設の美化・清掃 地球・環境改善 表彰・記念品贈呈 に分類される。

ではこれから如何するか。まず目的、対象を決めたらどうか。世界・地球についてはRIの活動に協力をするとして、逗子RCは足元の地域を対象にするのが順当と思う。

**手段は** 頭を使う - 頭脳・企画・技術の提供 汗を流す - 労働提供 お金を出す - 資金提供 がある。何れの活動も資金が必要である。毎年チャリティーイベント(ゴルフ、ダンス、コンサート、講演会等)を行ってきたが、企画を立てる人が限られるのでその点が問題である。

**活動の留意点として** アフターケアの問題がある。時計台、植樹などは毎年の手入れが必要で、後の年度の負担になる。また、寄付を受けた団体はともすれば毎年寄付を期待するようになる。大きなイベントは採算が重要となる。必ずリスクが伴い、イベントの為の予算を使い会員から寄付を募ることになるが、そのお金でわざわざイベントをしなくても寄付ができるわけで、そのことは会員の間でも時々議論されている。大きなイベントについては、CLPを活用し、社会奉仕、親睦活動、国際奉仕、職業奉仕ともすべて一緒に企画・行動すればよいのではないかと。

### テーブルディスカッション：藤吉委員長のまとめ

CLPを活用し、内容の充実を図りつつを絞って全員参加ができる大きな事業を継続的に行えると良い。例えばビーチバレー大会、ディベート大会、達人講座の充実など。他に地域のニーズに応え海・川の清浄化に協力、幼年者の育成支援、高齢者対象のチャリティー寄席の開催などはどうか。会員の拡大を図り、新メンバーによる新企画が必要である。行政を巻き込んだ大きな事業も良い。

**山本由夫新世代奉仕委員長：感想** 初めて委員長を仰せつかり11/25あじさいの植栽を行いました。当日はG.S.の参加もあり嬉しい達成感と交流感を味わいました。世代を超えて地域の青少年と継続的な事業を行っていききたい。



## ニコニコBOX (36,340円)

松井君...チャリティーダンス並びにあじさいの植栽お疲れ様でした。社会奉仕フォーラムご苦労様。

矢部(光)君...チャリティーダンスパーティー大成功!! ご協力ありがとうございました。

長野(芳)君...次年度もよろしく。

白井君...本日喋らせていただきます。

藤吉君...本日はよろしく申し上げます。

毛利君...フォーラムの成功を。

船津君、菊池君...社会奉仕フォーラムよろしく。

横山君...フォーラムに遅れました。

鈴木(久)君...チャリティーダンスパーティー、大崎公園

あじさい植栽出席の皆様ご苦労様でした。

坂井君...チャリティーダンスパーティー大成功でした。

山本(三)さん...チャリティー、あじさい植樹お疲れ様。

三宅君...先週の社会奉仕週間無事乗り越え、おめでとう。

山本(由)君...昨日8人目の孫が生まれました。

桐田君...今日のゴルフ、優勝しました。

桐ヶ谷君、山口君、石黒君、福嶋君、村田君...お寒うございます。...

杉本君...いよいよあと1ヶ月で新年、全く光陰矢の如し。

ニコニコBOX 本日合計 ￥ 36,340

累計 ￥ 1,051,024

### 編集だより

社会奉仕は従来ロータリアンの奉仕の精神を鍛える場といわれてきた。ロータリーはボランティア団体でもNPOでもない。集団としての力も微々たるものである。過去の社会奉仕活動を見てもやはり会員の訓練、実習の場であった。活動に参加し汗を流すことが本来の意義であることを明記すべきである。

クラブ会報委員長 坂井 宰